

H26. 問1. Q1 自らの気づき.

影響範囲の調査において、システムの有識者に、レビューを実施して頂き、
問題無いことを承認して頂くことが大事である。

自分の回答
調査範囲について、シ
ステムの有識者~~は~~レビ
ューをしている
か。

↑
EPAの回答
ライブラリの指定範囲
に漏れや誤りが無いこ
とを別の担手がチェ
ックしているか。

回答を比較しての気づき
レ有識者(別の担当者)
のキーワードが入っ
ているがう。
正解でよいのでは。

今後のアクション
レ有識者へのレビュー
は重要であることを
覚える。
その他、
レ影響範囲を調査する
ときの手順やチェッ
クリストの整備も
必要であることを
覚えておく。

H26 問1 Q2

気づき(まとめ)

テストについては、修正該当箇所だけでなく、後続の処理についてもテストをすること。

自分の回答
修正箇所のテストだけでなく、修正プログラムの後続処理についてもテストしていること。



正解Aの回答
修正箇所のテストだけでなく、修正プログラムの後続プログラム~~の~~テストも実施する。

回答と比較しての気づき
修正プログラムだけでなく、後続プログラムのことも書いている。
正解として良いのでは。

今後のアクション
修正
テストについては、修正該当箇所だけでなく、後続の処理についてもテストをすることをお勧めする。

障害の再発防止を防ぐには、全システムに対し、同様の障害が発生しないか、調査、確認することが重要である。

自分の回答

~~障害情報を共有する
ために、会議等で情報共有の場を設ける。~~

~~他システムの担当者
に障害情報を周知する
ために、会議等で情報の
共有の場を設ける。~~

IPAの回答

同様の原因による障害
が発生するおそれがある
かどうかも全システム
に対して調査する。

回答比較しての気づき

- 他システムへの周知
- 会議を開く。

障害情報の共有は手
段である。
障害の再発防止が
目的ではないか。

障害を防ぐため、
全システムに対し、
調査している

アクション

レリスクの記述を参照し、

文末を確認する。
「障害が再発する可能性
がある。」

この点を
コントロールを
考える。

H26 問1 Q3-2.

障害報告書には、他システムへの横展開の実施要否と、実施結果を記録すること。

他のシステムでの障害の横展開の実施結果を記入する項目を追加すること。

↑
EPAの回答
障害の発生原因に応じた他システムへの展開の要否及び展開を実施した結果。

回答を比較しての気づき。
↳ 他システムへの
↳ 展開の実施結果

↑
↳ 他システムへの
↳ 展開要否
↳ 展開の実施結果。



展開の要否の記載が抜けている。

今後のアクション。
↳ 他システムへの横展開を実施する場合は。
↳ 実施要否と。
↳ 実施結果を記録すること。

H26 問1 Q4.

ドキュメントの引継ぎ時は、リストの網羅性だけでなく、
保守作業に必要な内容の網羅性についても確認すること。

自分の回答

~~ドキュメントの内容が最新状態に更新されていることを確認しているか。~~



ドキュメントの内容に保守作業で必要な情報が網羅されていることを確認しているか。

回答の比較

◦ リストの網羅性は、監査人が保守担当者に対してアラインアップし、確認した。

◦ 内容は、どうだ？

リストの網羅性を問われたら、単純に、内容の網羅性のことを書いておけば、良かったのでは？

◦ ~~保守担~~

今後のアクション

◦ ドキュメントの引継ぎ時は、リストと内容について網羅していることを確認すること。